平成 25 年 10 月 30 日
政策協働部企画課

第２次総合計画策定に係る市内団体との意見交換会で出された意見の分析について

1　意見交換会の概要

(1) 目的

市民の意見を分野別に収集し、その意見傾向から課題認識度や重要度を把握することで、計画策定市民会議において施策の方向性や優先順位を決める際の基礎資料を作成する。

(2) 開催期間

平成 25 年 7 月 10 日～9 月 24 日（合計 17 回開催）

(3) 内容

・団体を対象に主要 5 分野＋普段意見を聞けない 3 分野から 173 団体、513 人が参加。

主要 5 分野		その他 3 分野	
産業	産業・労働・消費者	女性	幼稚園・保育園の保護者（母親）
健康福祉	健康・福祉・医療	企業	大手企業従業員
教育文化	学校・教育・文化	若手・金融	若手事業者・金融機関
生活基盤	消防・建設・環境		
行政経営	自治会・総務・企画		

・ワークショップ形式で「住みたいまちの姿」「現状課題」「解決に向けてできること」を協議

2　意見分析

(1) 全体の意見傾向

・意見数の分布については、別添「意見交換会での意見傾向」のとおり
・出された意見を 36 分野に分けて集計。※複数分野に係る意見については両方でカウント。
・「住みたいまちの姿で出された意見」「その中で重要なものとして選択した意見」の意見数や分布について分析。

⇒子供、医療、防災、労働雇用、公共交通、高齢者などに関する意見が多い。

(2) 分野別の整理と分析

・分野別意見の分析ついては、別添「(個別分野名）に関する意見の分析」のとおり
・出された意見全てについて「36 分野をベースに集約」し、その具体的内容の傾向や部門別の意見分布などを基に課題や解決策の傾向について分析する。
・個別の意見にも着眼し、具体的な取り組みへの反映について関係部課と協議する。

平成25年10月1日　集計資料

総合計画　市内団体との意見交換会での意見傾向

分野	詳細項目	健康福祉① 意見	健康福祉① 重要	健康福祉② 意見	健康福祉② 重要	健康福祉③ 意見	健康福祉③ 重要	教育文化① 意見	教育文化① 重要	教育文化② 意見	教育文化② 重要	教育文化③ 意見	教育文化③ 重要	産業① 意見	産業① 重要	産業② 意見	産業② 重要	産業③ 意見	産業③ 重要	生活基盤① 意見	生活基盤① 重要	生活基盤② 意見	生活基盤② 重要	行政経営① 意見	行政経営① 重要	行政経営② 意見	行政経営② 重要	女性① 意見	女性① 重要	女性② 意見	女性② 重要	企業 意見	企業 重要	事業者 意見	事業者 重要	集計 意見	集計 重要	(分野別意見) 分野別意見数/全体意見数	(分野別重要) 分野別重要数/全体重要数	重要の割合 (重要/意見)	(重要割合分野別) 分野別の平均
健康福祉	高齢者	○	○	◎		○		○		○		○				○		○				○		○								○		○		121	21	30.3%	33.7%	17.4%	15.5%
	子供	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	○		◎	○	◎		○		○		○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	283	60			21.2%	
	(若者)	○		○		○				○		○		○		○								○												63	10			15.9%	
	障害者			○																																16	1			6.3%	
	医療			○		◎	○	○		◎	○	◎	○		○	○	○			○		○		○	○			◎	○	◎	○	○				132	42			31.8%	
	健康																																			17	2			11.8%	
	スポーツ	○																														○				24	1			4.2%	
教育	大学等の誘致																																			10	1	5.7%	4.2%	10.0%	12.2%
	学校教育							○				◎	○															○								49	8			16.3%	
	社会教育							○																												27	1			3.7%	
	芸術文化							◎	○	○																										37	7			18.9%	
産業	農業							○						◎	○	○		○																		59	15	18.0%	21.7%	25.4%	22.4%
	漁業																																			3	1			―	
	商業			○		◎		○		○	○	○		○				○								○		○		○		◎		○	○	105	19			18.1%	
	工業																																			19	4			21.1%	
	観光業													○				○														○		○		46	10			21.7%	
	娯楽施設									○																				○		○				41	9			22.0%	
	労働(雇用)	◎		○		◎	○	○				○		◎	○	○	○	○				○		○	○	○				○				○		116	30			25.9%	
生活基盤	空港																																			25	7	26.5%	29.1%	28.0%	18.8%
	公共交通	○		◎		○		○		○	○	○		○	○	○		○												◎		◎	○	○	○	120	28			23.3%	
	道路・河川																					○						○		○						28	5			17.9%	
	上下水道																																			2	0			―	
	環境					○		◎		○						○		○																		65	5			7.7%	
	景観																																			28	3			10.7%	
	公園							○																				◎	○	◎	○	○				56	14			25.0%	
	防災	◎	○	○	○	○		◎	○			◎	○	○	○	○		◎	○	◎	○	◎	○	◎	○			◎	○	◎		◎		○		184	48			26.1%	
	防犯							○																						◎						42	5			11.9%	
	交通安全																																			13	1			―	
	情報通信																																			3	1			―	
	エネルギー																																			8	1			―	
行政経営	コミュニティ	○		◎				○		◎	○																									49	7	19.5%	11.3%	14.3%	13.8%
	ボランティア・NPO																																			3	0			―	
	市内の交流					○												○																		45	8			17.8%	
	市外と交流																									○										32	5			15.6%	
	市政運営							○						○		○																○				45	6			13.3%	
	その他																																			248	20			8.1%	
参加者	男性	18		12		9		23		27		19		29		26		23		17		21		19		13		0		0		10		29		295					
	女性	13		23		21		16		12		12		3		9		8		4		3		2		5		26		35		25		1		218					
	合計	31		35		30		39		39		31		32		35		31		21		24		21		18		26		35		35		30		513					

【備考】
・縦が意見交換会毎の集計、横が分野別の集計。1つの意見の中に複数の要素がある場合は全てでカウント。
・意見は「住みたいまちの姿」で出された意見。○は意見が5つ以上、◎は意見が10以上。
・重要は「住みたいまちの姿」の中から「重要な3つ」として選択されたもの。○は意見3つ以上。
・子供は「子育て支援」「子供の育つ環境」等を含んだ合計値。若者は高齢者、子供と比較するため、健康福祉に分類。
・原発は内容に応じて「エネルギー」と「防災」に分類。
・その他は全体のイメージ等各分野に分類できないもの。

【備考】
・集計の分野別意見は、分野別意見数/全体意見数の割合
・集計の分野別重要は、分野別重要数/全体重要数の割合
・重要の割合は、詳細項目別に重要数/意見数の割合
　意見数20以下の詳細項目については割合が適正に算出されないため、数値化しない。
・重要割合分野別は、詳細項目別の割合を分野別に集計

意見数	2,164
重要数	406
出席者数	513
男性	295
女性	218

「高齢者」に関する意見の分析

1　生きがい・交流

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	年寄りの集まる場所、子供と触れ合える場所、生きがいを持った暮らし、人の役に立てるなどを望む意見が出ている。
課題	老人クラブが衰退して交流の場所が無いが、無理して作ってもうまくいかない、孤立しがちな人がいる、生きがいとなる施策などの意見が出ている。 必要なことや子供と交流する機会を設けたいという意見も出ている。
解決に向けてできること	高齢者の自立や健康のためのセミナーの開催、ボランティア活動、サロンの充実などに係る意見が出ている。 高齢者の特効薬は子供達という意見があり、子供と触れ合える活動、お節介な人を増やす、地域での子育て協力など子育て分野への貢献を期待している

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・年寄りの交流が多くできる ・老後も生きがいを持って暮らせる ・子供を見守る ・子供と一緒に過ごせる場所 ・年寄りの集まる場所がある ・高齢者世代の居場所がある ・意欲的に働いている ・年をとっても人の役に立てる ・楽しく趣味活動できる ・幼稚園・小学校イベントに招待される	・世代間交流が少ないが無理して作ってもだめ（必要なことで交流する） ・一人暮らし高齢者世帯で孤立しがちな人がいる ・1/4 を占める高齢者が生きがいとなる施策 ・老人クラブの衰退に歯止めをかける ・交流する場所がない ・子供と高齢者が交流する施設が欲しい ・イベントに参加する人は決まった顔ぶれ ・男性がサロンにこない ・役員をやる人がいない ・公園がもっとほしい	・高齢者の自立、次世代はもっと大変 ・老人を集めて遊ぶ ・各自健康に注意する ・予防セミナー教室、温泉の活用 ・ボランティア活動 ・交流するイベントの告知（同報無線の活用） ・サロンの充実、多くの市民が参加 ・各団体の横の繋がり ・子供と高齢者が触れ合える活動をする ・高齢者の特効薬は子供達 ・お節介な人を増やす ・地域で子育てに協力していく ・学校の課外授業などで介護施設の高齢者と交流できる場を設ける ・地域のコミュニケーションネットワークを充実させる

2　医療・介護

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	老後の保障や医療対策への不安の解消、子供に頼らない施設の充実。
課題	施設は充実しているが安価などで人気があるところは満室のため、施設や病院の充実を求める意見が多い。高齢者以外からは施設に入ることが楽しいかという意見も出ている。

解決に向けてできること	施設、病院の充実、外出に同行するボランティア、受診ツアーなどの充実だけでなく高齢者同士の老々介護や体操などを誘い合うなど健康という解決策の意見も出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・老後の保障や医療対策が充実し障害安心して暮らせる ・介護が充実 ・障害者、高齢者が適度なサービスを受けられる ・老後に子供に頼らなくても素敵な施設に入れる ・高齢者施設、介護の充実	・悪くないのに病院に行く老人が多い ・高齢者は施設に行くことが楽しいかどうか ・施設はたくさんあっても安いところは満室 ・高齢者のデイサービスは増えている ・家族の手を借りることには気を使う ・介護施設、病院の不足 ・総合病院、地域の医療体制が不足	・高齢者はなるべき自宅で介護する努力をする ・施設をつくるための基金を募る ・外出時に同行してもらうえるボランティアを見つける ・老々介護者の見守る（民生委員や地域とも連携） ・福祉を受ける前に体操などを定期的に誘いあって行う ・受診のための高齢者受診ツアー ・老人ホームを増やす ・榛原病院を充実させる

3　公共交通・買い物

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	高齢者が買い物に便利になる、一人で買い物や病院に行ける、遠くまで買物に出でなくていい。
課題	自分で運転できないとバスの本数が少なく病院や買い物が不便という意見が多数。高齢者が困っていることの実態調査、新幹線新駅に接続するバス路線の整備などの具体的な意見も出ている。
解決に向けてできること	コミュニティバスの充実、定期運航のマイクロバス、タクシー券の配布という公共交通の充実に係る意見が多い。商店の宅配サービスの意見も出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・高齢者が買い物に便利 ・高齢者になって自由な時に利用できるバスがある ・安全に気軽に移動できる ・高齢者専用送迎バス	・病院に行く手段が少ない ・買い物が不便（運転しないと買い物に行けない） ・バスが少ない ・運転できないため困る ・1 人暮らしの人がどこにも行けない ・病院難民、開門難民減少	・コミュニティバスの充実 ・買い物、病院受診しやすい様にコミュニティバスの再検討 ・バスの本数を増やす ・シルバーに運転を依頼する ・市営の市無料バスの運行 ・高齢者料金の導入 ・定期運航のマイクロバス

・お年寄りがトイレに行きやすい店がある ・買い物や病院に高齢者でも一人で行ける ・高齢者が遠くまで買物に出なくてよい	・買い物や日常生活で高齢者が困っていることの実態把握 ・車で 10 分走らないとマーケットが無い ・バス停まで 10 分歩く ・新幹線新駅に接続するバス等の公共交通の整備	・御前崎市の様にタクシー券を発行する ・地域のスーパー、焦点と協力した配達サービスを検討 ・高齢者専用住宅の建設

4　その他

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	高齢者が暮らしやすい、安心した生活、尊敬されることなどを望んでいる 。
課題	高齢者が増加する中、施設は増えているが家族愛が希薄になっている、若い人に遠慮している、気にかけてもらいたい、声をかけてもらいたいという意見が出ている。
解決に向けてできること	子供や隣近所に助けてもらう、ボランティア体制の充実などの意見が多い。 敬老行事の実施や高齢者のできることを見習うことで、敬ってもらいたいという意見も出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・高齢者が暮らしやすい ・安心して生活できる ・高齢者や人の事に気を配れる若者が住む ・高齢者が尊敬される ・高齢者を大切にする ・終末が安心して迎えられる ・高齢者が一人で住める ・高齢者と子供が仲よく住める	・高齢者の増加 ・施設は充実しているが家族愛が薄れている ・高齢者が若い人に遠慮している ・食べ物が偏りがち、柔らかいものかまない食事 ・引きこもり外に出ない ・高齢者を気にかけている人はたくさんいる ・民生委員より身近な人に声をかけられる	・今回のような取り組みが行われ心強い ・子供に頼る ・隣近所の助け合い（普段からの付き合い） ・敬老の姿勢を示す（ボールペン 1 本でも紅白餅でもいい） ・自分たち（高齢者）で作っていく ・ボランティアの協力体制の充実 ・高齢者のできることを敬い見習う事を大事にする ・少人数でも出やすい集まりの機会 ・民生委員の頼らず、町内会単位で担当員をつくり見守る ・現状の準援護者指定方法を考える

「子供（子育て等）」に関する意見の分析

1　子育て支援

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	安心して子育てができる環境として、子育て支援の充実、働く母親の支援、相談がしやすいなどの意見が出ている。
課題	子育て支援の不足、母親の知識不足、費用がかかる、子供を連れて遊びに行ける施設などの意見が出ている。
解決に向けてできること	行政に求めるもの（手当、支援センター）だけでなく、母親本人の学習、地域、高齢者、企業との連携などの意見が出ており、多様な団体のサポートによる解決についても期待されている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・子育て支援の充実 ・安心して子育てできる ・助け合い（近所等） ・女性が子育てできる環境 ・楽しく子育てできる ・子供の相談がしやすい ・働く母親にやさしい ・子育て支援センターの充実	・子育て支援があまりできていない ・母親の子育て知識が希薄 ・子育てにお金がかかりすぎる ・子育て支援センターが土日開放しない。 ・働きながら子育てすることが大変 ・子供連れて遊びに行ける施設の整備 ・子育て支援事業（病児保育、ベニーシッター、残業時の預かり） ・子供手当が少ない ・少子化による税収減	・子供を安心して産める支援（地元の応援、教育支援手当、出産時の祝い金） ・子供を中心とした行事とする ・親業の学習 ・子育て世代への優遇制度 ・地域での子育て、働く母親のサポート ・若い母親を支援するネットワーク ・子育て中の若い親たちとの交流の場 ・子育てボランティア体制 ・市の不妊治療の助成金を増額 ・子育てに理解のある企業を誘致 ・元気な地域のお年寄りの協力を受け地域で子育て（公園の提供、遊びを教える） ・助成金を一人目から ・母子、休日手当（シングルマザーの働ける環境）

2　医療

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	医療費負担の無料化と病院（小児科）の充実に係る意見が大多数を占める。医療費助成を含め、近隣市より劣っているというイメージが強い。
課題	子供医療費負担の無料化、榛原病院の充実、救急・夜間診療の対応、小児科の開設に係る意見が多い。
解決に向けてできること	子供医療費を無料化するための財源確保と医師確保や診療科の開設による医療の充実という意見が多い。医師確保については、医師が住みたいまちをつくる、そのためのアンケートを行うという意見も出ている。

	一方で健康管理に係る親の教育をするなど健康であることが解決という意見も出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・医療負担を近隣市なみに ・医療費の無料 ・医療費を小学生無料にする ・安心して出産できる ・小児科が少ない（緊急時に遠い） ・榛原病院の小児科で入院できない	・榛原病院の医療を充実 ・吉田町は無料（近隣市より高い） ・子供医療費の無料化 ・医療機関が少ない ・任意の予防接種にお金がかかる ・救急で診てくれない ・夜間に見てもらえない ・相良に小児科がない	・医療施設の充実、診療科の増設 ・他市にまけない医療補助 ・健康管理等について親の教育をする ・医師を増やす、働きやすい環境づくり ・病院で働く人へのアンケート ・医師が住みたいと思える住宅地の整備と住宅の提供 ・医師の住みたい環境（夜の街） ・休日当番医を土曜の午後もつくる ・子供の急病などへの夜間診療

3　幼稚園・保育園

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	預かり時間、入所条件、サービスの質、保育士の増員などに関する意見が多い。 ※女性（保育園、幼稚園の保護者）からの意見が大半を占めている
課題	入所条件の緩和、働く母親の勤務時間に合わないなどの意見が多い。働きやすい環境整備のため預かり時間の延長、病児保育を課題とする意見が出ている。保育園間の施設の差異についても女性部門から具体的な意見が出ている。
解決に向けてできること	子供を預けて働けるように保育園の充実、入所基準の引き下げに係る意見が多く、時間外、病児、企業内保育などを求める意見も出ている。また、施設整備だけでなく園の選択や特徴の PR などを求める意見もある。 保育園の母親からは職員の増加や職員の質・サービスを幼稚園なみにしてほしいという意見があり、こども園（保育園機能を持つ幼稚園）という具体的な名称も出ている。子育て支援と同様に行政だけでなく母親、企業、地域の人材によるサポートも期待されている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・預かり時間に余裕がある ・安心して任せられる保育園（職員の質、施設） ・充実したこども園、幼保園（公立、私立の	・希望する園に入りにくい ・保育園に全員入園できる（入園基準が厳しい、仕事がないと願書もらえない） ・病児保育がない ・産前産後 6 か月を過ぎると 0 歳児は 10 ヶ月から	・保育所、補助の充実、職員の増加 ・子供を預けて働ける（学童、病児） ・病児保育に知己の女性等募る ・女性が安心して勤められる施設整備 ・保育園の入所基準を下げる ・園どうしの行き来で他園の様子を知る（園庭開放日をわかりやすく）

差が無い） ・相良幼稚園を海から離れた場所に ・幼稚園小学校の兄弟割引 ・幼稚園小学校の郊外イベントに年寄りを招待する ・	・仕事を続けられない ・企業で働く人には迎えの時間が早い ・保育園間の内容が違う ・遊具と園児数のつり合い ・耐震工事で窓に鉄柵 ・エアコンがない ・公立保育園と私立幼稚園のサービスや対応が違う ・下の子を保育園に入れないと上の子が退園となる ・インターナショナルなどの特別な教育は ・今の設備は市民の要望にあっているか ・保育園の数が少ない ・入園率が 100%でないためどこでも行けるように ・保育園は公営で行う方が望ましい	・保育園と児童クラブの併設（6 年生が下の子を見る） ・公立保育園のサービスを私立並みに拡充 ・保育士や元教師の人材活用 ・保育士の増員 ・産後 7 か月からの受け入れ ・保育園の先生の質の向上（延長保育時の子供への対応） ・現場の声を聴く、予算が無いと言わない ・保育園等の特徴が解るように ・行政がサービスや施策の PR を行う ・企業の中への保育施設設置の補助 ・時間外、病児、企業内保育 ・幼稚園が保育園の機能を担う ・保育園の母親が協力しあいサービスで子供を見る

4　託児・学童保育

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	児童クラブを含め子供を預かる施設の充実
課題	待機児童への対応、時間の延長、対象年齢の拡大、施設が小さいなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	スタッフの育成、企業内での実施への補助、学校や地区施設の利用、児童館の充実などの意見が出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・子供を預かる施設の充実（仕事、用事しやすい） ・一位次預かり保育（リフレッシュのため） ・児童クラブの充実	・学童保育不十分 ・親の勤務時間に合わせた預り所ない ・児童クラブの待機児童 ・児童クラブの延長時間 ・人財、資源が少ない ・児童クラブが狭い ・児童クラブ設置の動きが鈍い	・小学生の学童保育の延長 ・企業への労働条件の働きかけ ・児童クラブスタッフの人材育成 ・企業内での学童、託児事業への補助 ・企業と市が協力して学校や園を利用して学童や園児を預かる（祝日対応） ・児童館をきれいにして幼児から中学生が遊ぶ場所、遊ぶものをつくる ・オープンな児童館を増やす

	・高学年でも児童クラブに行けるように ・合同のために定員がいっぱい	・牧之原市独自の児童クラブをつくる ・児童クラブの設置場所を住民とともに探す（各地区のセンターなど）

5　学校教育

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	夢や将来ビジョンを持てる環境など
課題	競争意識が少ない、榛南から 3,000 人が他地区の高校に進学、学校施設の整備などの意見が出ている。
解決に向けてできること	地域の良さを知る教育、道徳教育、学力の向上、課外授業での高齢者との交流などの意見が出ている。課題を含め、サンプルが少なく意見が多様。 ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・中高生が具体的な将来ビジョンを持てる ・子供達が夢を持てる ・小学生のヘルメット、防止など ・子供達への防災教育	・競争意識が少ない ・芝のグラウンド、空調設備が無い ・学校の人的環境整備 ・榛南から 3,000 人が他地区に進学 ・高校以上の学校がない	・小学校の統合 ・道徳を教える教育 ・空調などの設備の寄付 ・牧之原の良さを学校で学習 ・課外授業で介護施設の高齢者と交流 ・学校の学力向上 ・地産地消の給食 ・学校側、下校時間の取り決め

6　公園・遊び場

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	子供同士が遊べる公園、子供が喜ぶ遊具がある公園、親子で遊べる公園などを求める意見が多い。
課題	遊具の質、清潔感、近接性、利用条件に係る意見が多く、子供同士が触れ合える近所の公園（広場）と子供と親が一日過ごせる施設の整った公園の 2 種類の需要がある。女性部門から意見が特に多い。
解決に向けてできること	近所の公園の解決策は、遊休地、神社、学校のグラウンドなどを利用し、子供達が地域や高齢者と共に草刈りなどの管理をしていくというもの。 施設の整った大規模公園については、吉田公園（吉田）や 22 世紀の丘公園（掛川）のようなイメージをもっているようであり、アスレチックや商業施設などの併設が期待されている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・子供が集まりやすい ・遊ぶ場所がたくさんある ・安心して外で遊べる ・遊べる広場や公園がある ・母子、小中学生が気軽に遊べる ・子供が喜ぶ遊具がある公園 ・雨でも遊べる施設 ・親子で遊べる施設	・放課後に学校のグラウンドで遊べない ・公園が少ない ・スポーツに適した環境が無い ・子育てしやすい公園がない ・公園が郊外にしかなく遊具も少ない ・子供たちの触れ合いの場所が無い ・きれいでない ・不審者が出る ・雨の日の遊び場がない ・子供をのびのび遊ばせるところがない ・大人も子供の 1 日遊ぶ公園がない ・歩いて行ける場所が無く家の前で遊んでしまう ・ボール遊びができる場所が無い ・大きな商業施設がない ・1 年から 6 年まで上下で遊ぶことがない	・校庭を市で管理し、遊び場スポーツ施設として開放 ・老人や子供が集まる場所をつくる ・地域で空いている土地をただで貸して公園を整備 ・公園を高校生の美術部にかわいくしてもらう ・子供、年寄り、地区で草刈りして管理 ・子供館をつくる ・0 歳～18 歳まで遊べる大きな公園 ・アスレチック等がある大きな公園 ・地域の美化作業に公園も入れる（草だらけで使えない） ・公園に室内の遊び場を併設 ・神社などの空き地に遊具を設置 ・休耕地に公園をつくる ・理想の公園を子供達から募集する ・企業にイベントを実施してもらう ・ショッピングセンターを誘致 ・定年退職者の能力を活用し、楽しさや物をつくる喜びを教える ・長期的に利用できる簡単な公園の整備

7　その他

・上記以外の意見についてはその他としたが、特徴的な意見を一部掲載する。

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・子供がのびのび育つ ・子供が郷土を自慢できる ・子供が可能性を感じられる ・親、学校、地域が連携して子供を見守る。	・世代間の交流が少ないが無理して作ってもだめ ・住みたいけど住めない現状（仕事、学校、土地） ・自然を少しケガしても体験させる ・子供が少ないため友達が少なくてかわいそう	・必要としている分野で交流する ・牧之原台地への住宅整備（親世代が住みたい環境の整備） ・海や山の遊びを子供達に体験させる ・市全体で子供を育てる ・川上市や流山市に学ぶ ・母、父になるなら牧之原市というスローガンをつくる

「若者」に関する意見の分析

1　若者

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	若者が働ける職場など就職先に係る意見が一番多い。他には活力がある、主役になれる、充実した生活など住みやすさに係る意見が多い。
課題	大学生のＵターン率、転入者が少ない、優良企業（選択肢）が少ないなど働き場に係る意見が多い。他には結婚しない、若者が集まる場所がないなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	企業の誘致、防災対策による企業留置による「雇用の場の確保」、観光PR、全国規模のイベント開催、皆が集える場所の確保などの「知名度や楽しめる施設の充実」、お見合いパーティ、結婚を進めるなど「出会いの場づくり」、子育て世代への優遇措置、託児施設など「子育て支援」に係る意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・若者が集まる ・若者が働ける職場がある ・若者の活力がある ・若者が戻ってきやすい ・若者が住みやすい ・若者が主役になれる ・若者が遊べるところがある ・若者が市内で結婚し、子供が郷土で育てられる ・若者がたくさんいる学園都市のようなまちづくり	・転入者が少ない ・大学生のＵターン率が低い ・働くところが少ない ・駅が無く不便 ・青年活動なくバラバラの状態 ・結婚しない若者が多い ・価値観が違う ・若者が集まる場所が無い ・大手企業がリスク分散で市外に出る ・優良企業が少ない（選択肢が少ない）	・市のPR ・全国規模のイベントの開催 ・企業を引き入れる ・津波防災対策（企業の安心する防災対策） ・結婚を進める ・独身者の出会いの場、お見合いパーティ行う ・若者が楽しめる施設の充実 ・子育て支援の優遇措置 ・子供を預けられる場所の確保 ・若者がいいと思えるような環境にする ・大学入学時から入社のイメージを持たせる ・工業団地の一部を学園都市にする

「障害者」に関する意見の分析

1　障害者

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	障害者が安心して暮らせる、障害があっても楽しく住める、障害者が自由に出かけられる、自信を持って働ける仕事があるなどの意見が出ている。
課題	障害者に対する理解を深めるため、まちに出る機会をつくる、交流する、低床バスの運行などの意見が出ている。
解決に向けてできること	NPO・ボランティアの充実、低床バス、デマンドタクシー、市民自らバリアフリーを実施、商業施設への障害者販売ブースなど障害者が出かけやすくするなど行動しやすい社会環境を求める意見が出ている。 ※健康福祉分野からの意見が多い。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・障害を持っていても気にせず暮らせる ・障害者にも優しい社会 ・障害あるなしに関わらず差別されない ・障害者が安心して暮らせる ・障害があっても楽しく住める ・障害者が自由に出かけられる ・障害者が適度のサービスを受けられる。 ・障害者の人達が自信を持って働ける仕事がある	・福祉の仕事が楽しいと思ってもらえないか ・障害者との交流が少ない ・障害者への理解が薄い ・障害者がまちに出る機会をつくる工夫 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン、カラーを含めたシティデザイン ・障害者にやさしい（防災） ・買い物、病院難民の減少 ・歩道がない ・低床バスの運行	・市が障害者用のグッズを多く提供する ・NPO、ボランティアの充実 ・障害者の講演会（本人や親が市民に伝える場を増やす） ・市民自ら歩け歩け運動や草取等でバリアフリーを図る ・商業施設に障害者販売ブースの設置 ・低床バスを運行し、障害者に利用してもらうことで福祉教育を行う ・デマンドタクシー等の導入 ・市から静鉄へ声かけ

「健康・医療・スポーツ」に関する意見の分析

1　健康

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	健康で暮らせるという意見が多い。子生まれ温泉など健康施設に関する意見も出ている。
課題	課題、解決策ともに産業部門からの「食」に関するものだけ ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。
解決に向けてできること	別に医療分野等における解決策として健康に係る意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・健康な人が多い ・美味しい食べ物を毎日食べられる ・子生まれ温泉の発信 ・健康増進のための施設の充実 ・心身ともに健康に過ごせる	・保存料、甘味料、ジャンクフード　食べ物が人をつくる	・地元の野菜を使う ・子供が一番いいものを食べている（給食）

2　医療

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	医療機関の充実、安心して入院・受診できる病院があるという意見が多数。
課題	「診療科の増設」、「医師確保」、「救急医療を含めた医療体制」の概ね3種類。
解決に向けてできること	診療科の充実、医療体制に係る解決策については榛原病院の充実、他の病院や開業医との連携による医療ネットワークの構築、行政による働きかけというものが多い。 医師確保については、地元出身の医師を養成するため、学費のサポート、地元の高校の進学率アップ、子供達に医師不足を知ってもらう、知り合い医師へのPR などと併せ医師が住みたくなる特典として住宅の提供を行うなどの意見が出ている。 原因分析として、医師へのアンケート調査、市民と病院の話し合い、受付できなかった数のデータ化による医師が来ない原因分析を行うなどの意見が出ている。 別の発想の解決策として、医療に頼らない、市民自ら健康に取り組む、地域で高齢者をサポートして健康維持に繋げるなど「健康」になることで医療に頼らないという意見も出ている。 どの分野からも小児科、産婦人科に係る意見が多い。（特に女性部門が多い。）

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・医療機関の充実 ・病気になっても安心して入院できる ・緊急医療の充実 ・子供を安心して産める ・子供の急な熱の対応や入院できる場所 ・安心できる医療体制	・診療科の増設 ・小児科、産婦人科が欲しい ・内科、脳外科が不足 ・眼科、皮膚科、精神科が少ない ・医師の確保 ・榛原病院の医師不足 ・常勤医師が少ない ・開業医の高齢化 ・救急対応 ・救急でも医師がいないと断られる ・救急車が安心して榛原病院に行けない ・夜間に見てくれる病院がない ・マイナスイメージが先行している ・待ち時間が長すぎる	・榛原病院の充実（診療科を増やす） ・他の総合病院との連携 ・総合病院と開業医の連携 ・地元出身の医師の養成 ・医師になるための学費のサポート ・（地元の高校を）医者を確保するため進学率の高い高校にする ・子供達に医師不足であることを知ってもらい医師になってもらう ・知り合い、地元出身医師に牧之原市勤務を PR する ・医師が魅力を感じる特典 ・医師が来たいと思える住宅地を用意して住んでもらえるようにする ・医師の賃金アップ ・病院で働く人にアンケートをとる ・病院と市民の話し合いの場を持つ ・市でバスを用意（榛原病院と診療科のある病院間） ・逆転の発想で医療に頼らない方向性 ・市民が自ら健康に取り組む ・地域で高齢者をサポートして健康維持につなげる ・受付できなかった数のデータ化

3　医療費

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	医療費負担の無料化、子供医療の充実を求める意見が多い。
課題	住みたい姿と同様に子供医療費に係る意見が大多数を占める。（他には国保保険料など）
解決に向けてできること	他市に負けない医療費助成を求める意見が多い。 医療費を減らすために予防として健康体操を行うという意見も出ている。 （医療で出ていた意見と同じ方向性）

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・医療費負担が少ない ・子供医療が充実し子育てしやすい	・子供の医療費を無料化 ・子供医療費助成が少ないため市外に流出	・他市に負けない医療補助 ・市の借金を減らして子供医療費に充てる ・医療費を減らせるような対策（予防とし

・子供の医療費を最低小学生無料に	・国民健康保険料が高い ・医療費が高い	ての健康体操）

4　スポーツ

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	スポーツ施設の充実として、陸上競技場、市民プール、芝のサッカー場、総合スポーツ施設などを求める意見が多い。
課題 解決に向けてできること	具体的な施設の整備、イベントの開催、地域での健康体操などの活動に係る意見が出ている。（産業部門、行政経営部門からの意見のみ） ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・スポーツ施設の充実 ・観光スポーツで市内外の人が楽しめる ・全国大会の誘致 ・全天候型の陸上競技場、市民プール、芝のサッカー場の整備 ・総合スポーツ施設 ・スポーツを通じて横の繋がりができる	・アリーナ、総合体育館などの外から人を呼べる施設が無い	・中体連、高体連の実施会場（にアリーナ付き） ・空港に隣接した施設をつくる ・スポーツイベントの開催 ・自分ができることを地域に繋げる（健康体操）

「教育・文化」に関する意見の分析

1　学校教育

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	教育の充実、施設の整備、防災対策、心の教育、教育格差の是正など多様な意見が出ている。
課題	課外授業の充実、ICT 教育が遅れている、個性を伸ばす、学力至上主義の見直しなどの意見が具体的に出ている。一方で予算の不足や、先生が忙しすぎるという教育現場の環境面に係る意見も出ている。
解決に向けてできること	人材確保、施設整備、物品などへの予算確保に係る意見が多いが、地域の力を借りた学習の充実、子供の心を育てる教育、先生・親の成長などに対しての意見も出ている。 ※課題、解決策共にほとんどが教育文化分野からの意見である。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・学校が多く子供が多い ・不登校になる子供がいない ・子供の教育費が無料 ・中高生が具体的なビジョンをもてる ・教育への支援が厚い ・学生が行きたくなる学校 ・教育、図書館の充実 ・障害児が充実した教育を受けられる ・できる生徒には物足りない面もある ・学校が高台で安心 ・教育格差が無い	・先生が忙しすぎる ・課外授業の充実 ・個性を伸ばす ・ICT 教育が他市より遅れている ・特別支援教育に対する支援策への予算が欲しい ・子供に目が行き届いていない ・学力至上主義の問題 ・危険のない遊び場 ・1 年から 6 年の上下で遊ぶところがない	・親も成長する ・学校を統合して充実した施設をつくる ・市内の購入物品へ境域補助を付ける ・地域の人の力を借りた学習の充実 ・防災訓練、地区行事への積極参加 ・教育予算を増やす（教師数、教具へ） ・特別支援教育専門性の教師確保 ・子供たちの心を育てる教育をする ・定年退職者の能力を活用した楽しさや物をつくる喜びを教える ・地産地消の給食

２　大学等の誘致

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	専門学校や大学等の教育を地元で受けたいという意見が出されている。
課題	大学や私立高校が市内に無く、交通の便が悪いため通学が困難であること、県外の大学に通学すると戻ってこないことなどへの意見が出ている。
解決に向けてできること	行政側で大学の誘致や奨学金制度を設置するという意見だが、企業の研究対象学科への協力など企業との連携に係る意見も出ている。 工業団地の一部を学園都市にし、若者が望む環境づくりをするというまちづくりの方向性に係る意見も出ている。 ※解決策については企業部門からの意見が多い。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・色々な学校があるといい（専門学校、大学） ・専門が学べる学校 ・高校が多い ・市外に出なくても大学に通える ・若者が多い学園都市との様なまちづくり	・交通が不便で義務教育後の通学の問題 ・大学、私立高校がない ・県外の大学に行くと戻ってこない ・高校卒業後の進路が１つもない ・アパートが余り気味	・大学生の地元での生活 ・大学の設置、奨学金 ・研究対象の学科への協力（企業） ・牧之原近辺への社宅入居を促し、大学へ進学する子供を確保する ・職業体験、工場見学を増やす ・お茶を専門にした科をつくる ・若者が望むような環境にする ・工業団地の一部を学園都市にする

３　社会教育

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	大規模図書館の設置、既存図書館の充実、生涯学習・公民館活動の充実などの意見が出ているが、大多数が図書館に係るもの。
課題	大きな図書館が無い、利用しにくいという意見が多い。
解決に向けてできること	大勢の人が利用する魅力ある図書館づくりのため、ツタヤとの提携（武雄市の例）やHPでの蔵書検索などの具体的なアイデアが出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・大規模な図書館の設置 ・既存図書館の充実 ・地域で人を育てる ・公民館活動の充実 ・生涯学習の充実 ・読み聞かせスペースの広い図書館がある	・大きな図書館やイベントホールが他にない ・図書館は他市に行く ・図書館が無く調べ学習ができない ・図書館が利用しにくい	・大勢の人に利用してもらう図書館 ・ツタヤが図書館を運営している（企業とタイアップ） ・図書館HPなどで蔵書が調べられる ・魅力ある図書館づくり ・社会教育の充実

4　芸術文化

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	文化レベルの向上、気軽に芸術に触れられる、地域の歴史に触れられるなどの意見が出ており、芸術文化の拠点確保のための施設整備を求める意見が多い。
課題	イベントホール（文化センターの再利用、い～らの利用方法の改善）に係る意見が多い。文化を推進するための市民意識が低いなどの取り組み姿勢に係る意見も出ている。
解決に向けてできること	施設整備の費用について行政の予算を捻出するという意見が多いが、市民や企業から資金を集めるという意見も出ている。 文化振興に係る専門部署の設置や文化都市を目指すという意見も出ている。 ※教育文化、健康福祉部門からの意見が大多数を占める。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・文化レベルが高い ・コンサートなどの文化的な催しが多い ・気軽に芸術に触れられる ・文化センターホールの活用若しくは変わるものの設置 ・文化協会の統一 ・地域の歴史に触れる場所 ・市民が文化的な集いができる場所がある	・市内の歴史や文化が知られていない ・い～らが利用されていない ・い～らがあるが遠い ・安く近くでコンサートを見ることができない ・音楽発表会で保護者を呼べない ・音楽、演劇などの文化に触れることが少ない ・文化推進の市民意識	・設備の充実 ・交通の便の悪さをカバーする市営バス ・催し物の告知等が行き渡る方法の充実 ・今のホールのリニューアル ・金が無いからといって安物を作らない ・利用しやすい施設維持 ・楽しみを自ら探し活動する努力 ・施設利用の柔軟性 ・文化都市を目指す、相良の歴史活用 ・資金を市民から得る ・施設に利用状況を一覧できる表を各施設に張り出す ・貸出にインターネットを活用 ・市民への文化情報の発信

「農業・漁業」に関する意見の分析

1　基盤整備や農地利用

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	耕作放棄地の解消、農地の有効利用、茶園の整備や緑豊かな田園風景
課題	耕作放棄地が増加し、農地が有効利用されていない。
解決に向けてできること	「農地のレンタル、オーナー制」による新たな担い手の発掘と「農地の集約、法人化」による農業形態の構造見直しの２とおりである。 農業を取り巻く状況が厳しい中、再利用や経営合理化などが求められている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・耕作放棄地の解消 ・農地の有効利用 ・茶畑の整備・緑豊かな田園	・耕作放棄地の増加 ・体験できる施設や機会 ・高齢化による耕作放棄	・他の人への貸付け ・オーナー化 ・土地利用全体のプロジェクトで解決 ・農地の集約 ・法人化による大規模化

2　経営体制

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	基幹産業の茶価格が振るわない状況のため、現行の農業では生計がたたない(儲からない)ことから、農業経営の充実や新しい農業に期待する意見が多い。
課題	旧態から脱却し、新たな農業のあり方を求める中で「販売などの６次化」「次世代基幹作物の発掘」に取り組む意見が出ている。
解決に向けてできること	農業者向けの商業勉強会、消費者との意見交換、専門学校など「農業者自身の気づきや勉強の場を求めるもの」と農作物の転換指導、規格外作物の加工と６次化などの「農業経営に係る具体的な技術指導」を求める意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・農業での生計 ・農業経営の充実 （多角経営） ・新しい農業（誰でも、太陽光の利用）	・旧態からの脱却 ・茶価格の低下、茶農家の収入減 ・農家による販売 ・次世代の基幹産業育成 ・農業のあり方	・生産者向けの商業の勉強会 ・茶以外の農作物の転換指導 ・農業法人の支援（篩にかけて保護） ・規格外作物の加工と６次産業化 ・消費者との意見交換、協同開発 ・農業の専門学校

３　ブランド化

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	牧之原茶や食品のブランド化を行い、日本一など誇れるブランドとしていく。
課題	牧之原市のブランドイメージが乏しく、お茶、農産物、漁業などでブランドイメージを高め、県外でのイメージの向上を求める意見が多い。
解決に向けてできること	既存ブランドのブラッシュアップ、ブランド基準などを通じ、市民による商品化やＢ級グルメの創出について意見が出されている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・牧之原茶の確立 ・その他食品のブランド化とイメージ ・日本一の〇〇（お茶生産量など） ・誇れる地域ブランド	・牧之原茶のブランド ・県外での知名度 ・漁業のブランド化 ・販売の強化 ・PR のための手法	・名物産品を作り出す ・既存ブランドの磨きをかける ・牧之原統一のブランド基準を決める ・市民による商品化 ・Ｂ級グルメ

４　地産地消

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	地産地象の推進
課題	特になし
解決に向けてできること	食育や地産地消を推進するため、給食での地元の食材の利用やイベントの開催を通じて食の大切さを教えるなど。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・地産地消になる ・地産地消による暮らし	特になし	・食育の推進により、給食で地域の食の大切さを教える。 ・地元の食を率先して利用する ・推進のためのイベントの開催

５　後継者

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	農業後継者が増える
課題	農家の高齢化による後継ぎの不足
解決に向けてできること	やりたい人の誘致などの短期的解決策と、子育て支援や子供たち学習を通じて関心を高めるなど長期的解決策の意見も出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること

・農業後継者が増える	・農家の高齢化 ・若者が少ない ・後継ぎがいない	・農業やりたい人の誘致（優遇制度） ・子供達の体験、考える時間をつくる （学校での体験企画、関心を高める） ・若年起業者への創業支援

６　PR や消費拡大

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	地場産品やお茶を使ったＰＲ
課題	地場産品やお茶など優れた素材を活かしきれていなく、全国での知名度が低い。
解決に向けてできること	漁協などの施設、イベント、インターネットを利用した PR を進めるとともに茶を常用しない県との提携や市として売り込むものなどのコンセプトを明確にしていく。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・地場産品やお茶を使った PR	・お茶は有名だが県内の他市に比べて名前出ない ・素材を活かした発信	・市として売り込むものをはっきりする ・県外での PR 活動 ・茶を常用しない県への斡旋、提携 ・イベント、インターネットでの PR ・地元のトラック市での PR ・閉鎖した漁協を利用しマリンスポーツ

７　行政の支援

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	特になし
課題	全体像としての方針に乏しく、お茶に偏りすぎる
解決に向けてできること	お茶以外の農業の見直しや新たな事業への支援などを求められている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・特になし	・全体像としての方針 ・お茶に偏りすぎる	・お茶以外の農業を見直す。 ・新たな事業に手厚くする ・農業者との情報交換 ・補助金でつることは辞める

「商業・娯楽施設」に関する意見の分析

１　商店街

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	商店街の活力があり地元で何でもそろう、賑わいのある商店街など商店街の活性化や賑わいを求める意見が多い。
課題	商店街に人が寄る魅力あるイベントが少ない。
解決に向けてできること	複数分野から意見が出ているが、商業関連の意見の中では割合が低い。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・商店街の活力がある ・ポイントカード統一 ・相良だけでなく榛原の商店街形成	・商店街に人が寄る魅力あるイベントがない	・特になし

２　個店の魅力

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	個性的なサービス・商品、便利さ、知名度などを求める意見が多い。
課題	個人店はあるが商品数が少ない。
解決に向けてできること	量より質で勝負する経営支援、個性的なショップの集積など

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・飲食店の充実 ・有名店が揃う ・美味しい店がある ・おしゃれな店がある ・遅くまで開いている	・個人店はあるが商品が少なくて限られている	・量より質で勝負する経営支援 ・個性的なショップを集める計画 ・ファミリーレストラン、ファーストフード店をつくる

３　大規模商業店舗

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	大型商業施設、アウトレット、安くて色々なものが買えるショッピングセンターがあるなど全て大規模商業施設を市内に求める意見。立地場所は空港周辺を指定しているものが多い。
課題	大規模商業施設が無いという意見が多く。具体的には一度に買い物できるところ、家族で買い物できるところなどを求めており、高校生や小さい子供がいる

	家族などが意見を出している。（女性部門からの意見が具体的）
解決に向けてできること	東名や空港を活かした場所、津波の心配がないところ（具体的に大寄地区の名前も出ている。）に大型施設を誘致する意見が出ている。具体的な店舗名としては、コストコ、IKEA、キッザニアの名前が上がっている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・大型商業施設がある（空港、牧之原等） ・アウトレットがある ・商店の活気 ・安くて色々なものが買えるショッピングセンターがある	・大型複合施設がない ・大型スポーツ店がない ・高校生は空港にアウトレットや遊ぶところが欲しい ・一度に買い物できるところがない ・家族で買い物を楽しめない ・浜松、静岡に出かける	・東名・空港を活かしたアウトレット ・大型ショッピングセンター、複合施設を誘致する ・コストコ、IKEA、キッザニアが欲しい ・店が集積する大規模なところが欲しい ・大規模な土地の購入 ・津波の心配がないところへ大型店 ・津波対策をして大型店を呼ぶ ・大寄地区の活用

4　レジャー施設

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	大規模商業施設と同様で市内に施設がなく、市外に求めているという状況。レジャー施設の範囲としても遊園地のようなものから観光施設の延長のものまでが含まれており、意見のレベルにも差がある。
課題	娯楽施設がなく、市外に遊びに行く、友達を呼べるところが無いなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	既存施設の充実を中心に具体的な内容も出ているが、商業施設に比べると具体的な解決策に一貫性がなく、多様な意見が出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・レジャースポットや遊ぶところがある ・遊園地、アミューズメント施設 ・若者が遊ぶ空間ある ・屋内で遊べる場所 ・娯楽が充実し子供が夢を持ちやすい ・親子で遊べる場所	・コジンマリしている ・遊びながら食事を楽しめる場所がない ・他市で娯楽の充実を得ることが当たり前に ・家族で出かける際に市外へ行く ・友達を呼べる観光地がない ・スポーツ広場がない	・1ヶ所に集中させ、そこを中心に発展させる ・市内の観光、商業施設の統合 ・空港の周りに花を植える ・海岸をゼロベースでレジャー施設の位置付けで計画 ・勝間田公園の充実（ジャングルジム等）

	・レジャー施設がない	

5　購買環境

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	買い物に便利な環境に係る意見が多い。
課題	商業施設、ホテル、レストランなどが無く、買い物には他市に行っている状況が上げられている。また、大規模店と同様に家族連れが遊びにいくところが無く公共交通の充実も期待されている。
解決に向けてできること	公共交通の充実を求めるものであり、特に産業部門と行政経営部門の意見が具体的で多い。（女性や若者は大規模店の誘致という解決策に対して、行政経営や産業関係は公共交通の充実という傾向にあると思われる。） ※大規模商業施設の集計を別にしたため、ここでは交通弱者対策や商店の近接性に関する解決策として公共交通に関連するものが残った。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・欲しいもの必要なものが買える。 ・田舎にもスーパーコンビニがある ・高齢者も買い物が楽しめる ・駄菓子屋がたくさんある ・近くに商店がある ・外食、買い物を他市に頼らない ・買い物が便利	・商業施設が少ない ・市外から来てもホテルレストラン、商店がない ・大手企業があっても出張者の宿泊施設が不足 ・バス・電車が少ない ・買い物で他地域へ行く ・毎週市外へ行く ・空港近くに買い物できるところがない ・高齢者でも買い物できる環境が必要 ・休日に子供を連れて遊びに行くところがない ・マーケットまで車で10分かかる	・企業誘致し、テクノポリス化する ・市にあった予算で民間企業と協同でハード面の整備を検討（住宅、商業等） ・公共交通機関の充実 ・スズキ電気自動車をコミュニティバス ・ネット販売を支援する ・島田駅のようなきれいな街並みにする ・静鉄バスのない時間や場所を市で埋める援助をする ・住民のニーズにあった品ぞろえ ・市民の共通認識のための目標 ・御前崎市のようなタクシー券発行 ・市営の市無料バスの運行 ・高齢者料金の導入

7　その他

・分類が困難な意見をその他としたが、個性的な意見が出ていたのでの一部を紹介する。
・まちづくりの方向性について、長期間の視点による具体的な計画策定や市民参加による案の検討、空港周辺の開発などを求めている。また、高度な水準は近隣市に求め、あれもこれもという欲求を捨てて個性的なまちづくりを行うことが解決という意見も出ていた。
・空港周辺については、商業の全ての項目で着目されており、商業施設の整備や開発が期待されている。

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・商業が発展するまちづくり ・市民全体での地産地消の取り組み ・B 級グルメ、牧之原弁当の創作	・子供達が大人になっても戻ってきたい魅力ある ・雇用の受け皿はあるが、受け入れる住宅、商業施設が不足 ・高度の文化的欲求は近隣市に求める（市内は図書館、公園等） ・若者のトレンドに反応できていない	・長期間の具体的な計画をつくり、毎年 1 つずつ解決する ・市民参加により案を考える ・空港周りの活用の仕方を広く求める ・町おこし等、他県の成功例を参考に ・牧之原市にくれば何かあるというイメージをつくる ・市民はあれもこれも欲しいという欲求を捨てる。（これだけは牧之原という個性あるまちづくりを行う）

「工業・労働（雇用）」に関する意見の分析

1　雇用の確保

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	大学卒業後に働く職場がある、誰でも就職できる、雇用環境など働く場所があるという意見がほとんどである。
課題	新規の企業立地が少ない、既存産業の低迷、居住環境などの意見が出ている。
解決に向けてできること	企業誘致、空港周辺の都市計画、企業との連携、規制緩和などが求められている。 地元産業としても牧之原電力（再生可能エネルギーや火力発電など）農業などの法人化による受け皿をつくるなどの意見が出ており、官民の連携による産業の創出を通じて雇用環境を確保していくという傾向の意見も出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・働く場所がある ・家の近くに職場がある ・大学卒業後に戻ってきたい ・高齢者が意欲的に働ける ・研究機関が充実	・企業、求人が少ない ・商業施設がない ・交通網等の環境が悪い ・本社機能が無い ・大学等がない ・企業が出ていく ・茶産業などの低迷 ・企業が来やすい環境 ・住宅地が少ない ・農業では生活できない	・公設民営での働き場つくり ・工場で即戦力になる人を育てる ・市で工場に雇用をお願いする ・企業の本社化 ・官民連携で新たな需要を創出 ・法人をつくり都市から若者を ・ディズニーランドをつくる ・農業の企業化 ・規制緩和により ・工場の安全面の確保（防災対策） ・相良高校と企業のタイアップ ・市が土地を買い上げて企業誘致 ・空港を活用した都市計画、イベント ・牧之原電力を設立する ・市外へ出た若者へ市内就職情報の発信

2　働きやすい職場・環境

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	魅力的な働き場がある、若人が仕事しやすい、母親が働きやすい、子供の就きたい職場があり夢が持てるなどの意見が出ている。
課題	働き場の総数ではなく、魅力的な職場が無い、交通基盤が脆弱で通勤できない、母親や障害者などの働きやすい環境ではない、業種が限られているという意見が多く出ている。
解決に向けてできること	保育園の充実・入所条件の緩和や障害者に対する理解を高めるという母親や障害者が働きやすい職場づくりという意見と働き場の多様化、魅力的な職場の創

	出という職業の選択肢を増やすために新たな産業の誘致や創出を図るという意見の大きく 2 種類に分類される。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・若い人が仕事しやすい ・就業場所を選択できる ・働く場所が多くて魅力がある ・若者が働くことに魅力を感じる職場がある ・母親が働きやすい ・仕事と育児の両立ができる。 ・子供の就きたい職場があり夢がもてる	・仕事はあるが若い人の好みのものではない ・駅がなく通勤できない ・高校を出て通えるところがない ・工場があっても使ってもらえない ・保育園に子供を預けられない。 ・障害者が働くところが少ない（理解不十分） ・限られた業種の仕事しかない ・子育て中の母親の働く場所が無い ・女性の働きやすい職場がない	・保育園に入園しやすい条件（送迎バス） ・食品のブランド化と農業の発展 ・障害・病気について勉強してもらう ・魅力ある職場を子供に植え込む ・イオン、コストコに声をかける ・休暇や働き方について企業間で話し合いをしてもらう ・勤務時間を見直し、短時間シフトを組み込んでもらう ・地元資源を活かした企業をつくる ・若者が起業できる仕組みをつくる ・テーマをもった街づくり ・技能等のレベルアップの援助をする ・空港周辺に商業施設の開発 ・テーマパーク、カジノの誘致 ・再生可能エネルギー産業

「観光・空港」に関する意見の分析

1　空港

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	空港を拠点とした開発などの集客力強化、ダイヤの改善など利用しやすい環境整備などを求める意見が多い。
課題	空港周辺の開発が遅れている、集客施設がない、空港までの交通手段がないなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	空港を広域交通の拠点として工業、商業施設を誘致するなど目玉となる開発を進める意見が多い。 アイデアを市民に募集するという意見も出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・空港周辺の開発 ・発着時間の改善 ・空港を拠点とした発展（臨空都市） ・空港付近へのアウトレット ・外国の人が観光しやすい ・空港近くへの公園 ・空港に市の土産	・空港ができたのに使いきれていない ・高校生は空港にアウトレットや遊ぶところが欲しい ・空港周辺の開発が遅れている ・公共交通が整備されていないと不便 ・空港利用者の保養地がない ・空港近くに商業施設がない ・だれが決めていくか	・空港利用のアイデアを市民に募集 ・空港周りの活用の仕方広く求めて実現に近づける ・空港を大型ジャンクションにする ・空港周辺の目玉をつくる ・空港の PR 方法を考える ・空港周辺に地元住民が集まれる場所をつくる ・近隣の工業団地への企業誘致を行う ・空港周辺の土地へ商業施設を誘致する ・マイクロ、ワゴン車を空港まで走らせる

2　観光全般

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	施設やイベントの充実を通じて、観光客が訪れ賑やか、知名度が高いなどの意見が出されている。
課題	知名度が低く観光資源、ブランドイメージなどのＰＲが足りないという意見が多い。
解決に向けてできること	知名度を高めるための PR の充実に係る意見が多く出ている。観光資源としては、グリーンツーリズム、体験学習、富士山とお茶、B 級グルメ、ホームステイなど多様な意見が出されている。市として売り込むものの明確化や若い人のアイデアの活用などが期待されている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・観光客が来る ・観光・スポーツ等を市内外で楽しめる ・全国に知らない人がいない ・観光産業が盛ん ・ブランドイメージのあるまち ・素晴らしい景観を活かす ・イベント等があり活気がある ・観光施設の充実 ・シンボル的な建物がある	・全国的に有名でない ・PR が足りない ・観光資源は？ ・皆がおもてなしの心をもっていない ・子生まれ石を有名に ・日本一をいっぱい作る ・市の PR のためのコマーシャル PV ・ブランドイメージ PR のための手法が少ない ・週末に行こうと思わない。 ・各種の集客が減少 ・駐車場が狭い	・マスコミや広報に力を入れ、宣伝は頭を使いタダでやる ・牧之原の良さを共有できる場を設ける ・公共交通の充実 ・お茶への投資 ・グリーンツーリズムを活用した婚活 ・市民、団体が観光客に感謝の心を持つプロジェクト ・ホームステイを募り、牧之原を体感 ・富士山とお茶のコラボ（茶草場） ・楽しめる施設の創作 ・体験学習と習働 ・若い人の発想を活かしたアピール ・市として売り込むものをはっきりする ・マップ、B 級グルメの作成 ・特区住宅地をつくる ・地元商店街が集まれる道の駅をつくる ・新エネルギースポットの活用

3　宿泊

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	牧之原台地へのホテルの整備など　　※意見数が少ない
課題	宿泊施設の受け入れ容量や施設自体が少ない。 大企業が来ても従業員や出張者の宿泊施設が不足している。
解決に向けてできること	宿泊所設置に係る助成、夏合宿が行うえる施設に係る意見のみ ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・牧之原台地にホテル ・保養所の充実	・宿泊受け入れのキャパが少ない ・大手企業があっても従業員や出張者の宿泊施設が不足 ・宿泊施設が少ない	・宿泊所などをつくる人に特別に助成金を出す ・夏の合宿などが行えるような施設

4　海・海岸線

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	海を活かす、海水浴人口の増加、観光スポットを増やす、マリンスポーツの充実などの意見が出ている。
課題	海水浴客が少ない、マリンスポーツを楽しむ施設が少ない、海水浴以外のメジャースポットなど海水浴以外の海岸利用の充実についても意見が出ている。
解決に向けてできること	海水浴以外の観光施設やイベントなどを誘致するという意見が多い。 ※女性部門の意見が多い。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・海を活かす ・海水浴人口増加 ・海を活かした観光スポットを増やす ・海をもっと有効に使う ・海岸の砂浜が昔のようになるといい ・再び海が産業で盛り上がる ・マリンスポーツが充実 ・大茶園、海のアピール	・海を触る方がいいか触らない方がいいか ・海がきれいなのに海水浴客が少ない ・海の家が少ない ・遠浅の海岸でない ・観光スポットを R150 に設ける（農産物、魚） ・海水浴はあるがマリンスポーツを楽しむ施設がない ・海水浴以外のメジャースポット ・静波の住宅 1～2km は海抜 4～5m	・海水浴場の名前をもっと大きく ・林間学校（海） ・漁師との交流（漁港の活用） ・国道沿いの観光スポットに海と山のものを集める ・住んでいる人参加型で地頭方カリフォルニア計画 ・街コン（静岡駅から各駅経由で若い人を乗せてくる） ・マリンスポーツのイベント、大会推進

「公共交通」に関する意見の分析

1　バス路線

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	バスの本数、時間、ルートなどが充実、市内循環バスの運行などにより、交通の便が良くなるという意見が多い。
課題	便が悪く自家用車が無いと暮らせない、本数が少ない、バス停まで遠い、休日の本数が少ないなど
解決に向けてできること	コミュニティバス、市内循環バスの運行という意見が多い。 利用率や費用の面を考慮し、企業との連携による共同運行、企業がバス通勤者へ奨励金を出す、事業所規模拡大による「利用者の増加」やマイクロバス、小型バスによる「経費削減」などについても意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・交通の便がいい ・定期的に市内循環バス運行 ・バスの時間が短い ・バス停が欲しい ・バスの本数が少ない ・高齢者専用送迎バス	・バスの便が悪く、自家用車が無いと暮らせない ・バスの本数が静岡以外少ない ・バスが不便な地域がある ・休日の本数が少ない ・バス停が近くに無く、子供が利用したことが無い ・障害者、高齢者が不便なくバス停に行ける ・JR や新幹線までの移動が不便	・コミュニティバスの運行 ・市内循環バスの設置 ・行事の時にマイクロバスを出す ・公共機関との連携（バス利用を促す） ・バスの運転時間をもっと遅くする ・飛行場と結ぶ路線をつくる ・バスの本数を増やす ・マイクロバスにして経費を減らす ・小型乗合バスを利用者の多い区間や時間帯に希望により走らせる ・軽便路線に小型バスを走らせる ・市民にコース、時間帯が必要か聞く ・共同運行（企業、行政）のコミュニティバスを整備する ・バス通勤者への奨励金を企業が出す ・事業所の規模を大きくして利用者を確保する ・市内病院にアクセスしやすくする

2　他の交通機関

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	JR の駅がある、新幹線の駅があるという意見が大多数を占める。
課題	電車の駅が無く、車が無いと不便、飲んだ時や出張時にタクシーを使わないといけない、鉄道が無いために近隣市に住民が流出しているなど鉄道の駅が無いことを上げる意見が多い。空港や御前崎港の利用についても意見が出ている。

解決に向けてできること	JR、静鉄が路線を増やしたくなるように観光産業を活性化させる、空港周辺への大型商業施設の誘致など需要を創出するという意見が出ている。 新幹線の新駅については期待する意見が多い。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・JR の駅がある ・新幹線の駅がある ・六合、金谷以外に最寄り駅がある	・飛行機が来ても電車が来ない ・鉄道の駅が無い ・高速道路インターまで遠い ・運転免許がないと自宅から遠くへ行けない ・電車がなくお酒を飲みに行くのに不便 ・タクシーの台数少ない ・出張者会社にお客が来るときには金谷駅からタクシーを利用 ・空港の利用率が低い ・御前崎港の利用促進 ・鉄道が無いため、近隣市に住民が流出	・JR、静鉄が路線を増やしたくなる観光産業 ・新幹線新駅をつくる ・空港周辺への大型商業施設の誘致 ・複数のバス会社、タクシー会社、市で協同して新しい交通機関を考える ・国家プロジェクトで羽田、成田の代替えができる空港にする ・静岡空港の黒字化のためにも新幹線新駅は絶対必要（国、県に働きかける）

3　全般的な意見

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	交通の便がいい、交通網の発達、大都市へのアクセスなどの意見が多い。
課題	交通の便が悪く、車が無いと何もできないという意見が多数。
解決に向けてできること	ボランティアによる支援、市、地区、各種団体などによる交通手段の整備や取り組みに係る意見が出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・大都市への交通が便利 ・交通網の発達 ・車に乗れない時の公共移動手段 ・他の市へのアクセスが良い	・車が無いと何もできない ・企業が来ないのは交通網が悪い ・交通網が不便で都会からのアクセスが悪い ・公共交通機関で通勤できない	・ボランティアによる買い物の支援 ・市民、地区が負担して交通手段を整備 ・各種団体がチームをつくり取組 ・利用率の高い公共交通網をつくる ・市外へのアクセスの改善 ・必要なことを提案し、どうすれば実現するか話し合う

「道路河川・景観」に関する意見の分析

1　道路河川・上下水道

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	道路・歩道・下水道の整備がされている、道路河川の環境美化という意見が出ている。
課題	道路が狭く歩道が無い、橋梁の強度、実現不可能な計画などの意見が出ている
解決に向けてできること	優先順位を付けて実施、歩道は子供の安全のため早く対策を行う、都市計画税をとるなどの意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・道路が整備されている ・市内全体に下水道が配備されている ・歩道のある道路が多い ・道路、河川がきれいで環境美化が良い ・都市計画道路の整備	・道路整備 ・歩道が無く通学危険 ・橋梁の強度が心配 ・道路が狭い ・主要幹線道路の整備 ・実現不可能な都市計画道路が多数ある	・優先順位をづけて１つずつ達成する ・子供の安全のため早く対策をする ・橋の強度をあげる ・都市計画税を取るべき ・4m 未満道路のセットバックの徹底 ・地域住民の交流、ボランティアの増加

2　景観

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	美しい自然を残す、景観を活かした観光、美しい町並み、富士山の景観が望める住宅地の整備など、自然の景観と住宅地の景観の両方の意見が出ている。
課題	茶の緑の素晴らしさを伝える、牧之原台地から見る富士山の景観を活かすなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	観光財産としての台地の整備、海岸通り整備の意見のみ ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・美しい緑がある ・昔からある自然が美しいまま残っている ・素晴らしい景観を活かした観光がある ・電柱や標識が無い ・町並みが美しい ・富士山が見える高台に住宅地がある	・茶の葉の緑のコントラストの素晴らしさを伝えたい ・牧之原台地から見る富士山はきれい ・自然豊かだが、自然以外はどうか	・観光財産として台地を整備する ・海岸通りの整備をきれいに行う

「環境・公園・エネルギー」に関する意見の分析

1　環境

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	川や海などの自然環境を大切にし、快適な環境を保つという意見が多い。具体的には花がたくさん、ゴミがない、公害がないという意見も出ている。
課題	モラルの欠如などによりゴミ処理がされないこと、開発により便利になったが自然への思いが希薄になったことが上げられている。
解決に向けてできること	イベントや地域の活動を通じて地域をきれいにするという意見が多い。 市と市民による環境を守る団体や行政のすぐやる課の設置など団体、組織に係る意見も出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・自然が多く環境がいい（自然を大切に） ・花がたくさんありきれい ・公害のない暮らし ・清潔で緑がある ・川、海がきれい ・ゴミがなくきれい ・快適な環境で住み続けられる。 ・環境に配慮しながらも雇用を生み出せる	・ゴミ処理をしない（モラルが欠けている） ・国道、県道にゴミ多い ・浜にゴミが多い ・子供達が住んでいるところの良さを知らない ・道が多くでき交通の便は良くなったが、自然への思いが薄くなった ・原発によって環境を壊すことが無いように	・市と市民が協力して環境を守る団体をつくる ・区単位で自分たちの地域をきれいにする ・地区ごとにゴミゼロ運動の実施 ・町内会毎に道路の近くを掃除する ・行政に“すぐやる課”をつくり苦情処理 ・ゴミの利用、リサイクルを確立 ・市民の情報共有によるモラルの向上 ・ゴミ捨て等の市の条例をつくる ・花いっぱい運動コンテストを行う ・全市一斉でゴミを拾う日をつくる ・ゴミ拾いをイベントに組み込む

2　公園

(1) 意見の傾向分析

住みたい姿	遊具が充実し、草刈り等の管理がされている安心して遊べる公園が求められている。公園の種類としては親と子供が一緒に遊べるような広い公園と子供達が集まる近所の公園の 2 種類に分類される。 全般的に女性（母親）部門の意見が占める割合が大きい（母親の関心が高い）
課題	遊具の老朽化や草刈りの不十分さなどによる不安に係る意見とトイレ等の設備、近接性、ボール遊びなどの利用用途の利便性に係る意見が多い。1 日遊べる大規模公園については他市の公園に行っているという意見も出ている。
解決に向けてできること	遊具に関しては行政だが、草刈りなどの管理は利用者、自治会、高齢者、母親、学校行事などにより管理していくという意見が多い。 地域の広場としての公園は、休耕地や神社の空き地の利用や、老人ホームの隣につくるという意見が出ている。 利用する子供達に「理想の公園」を募集するという意見も出ている。

(2) 代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・子供が安心して遊べる公園がある ・親と子供が一緒に遊べる公園 ・22 世紀の丘公園や吉田公園のような広い公園 ・遊具が充実した公園 ・草刈りなど管理されている公園 ・公園が多い ・近くに公園がある ・子供達が集まれる公園 ・子供が毎日行きたくなる公園	・遊具が汚い、少ない、壊れている、安全性不安 ・子供が遊びたい遊具がない（大型の遊具） ・草だらけで危険、怖い、遊びにくい ・トイレが汚い ・休憩所、駐車場、木陰がない ・歩いて行ける場所に公園がない ・子供が遊ぶ場所がない ・駐車場や道路で遊ぶ ・ボール遊びしても交通事故の心配がない ・1 日遊べる公園がない ・吉田や掛川に出かける	・遊具の整備、危険な遊具の撤去（行政） ・神社などの空き地に遊具を設置し、ある土地を活用する ・休耕地に公園をつくる ・老人ホームの隣に公園をつくる ・大きい遊具がある公園をつくる ・子供目線で遊具を充実 ・公園で遊んだあとに、遊びを少し切り上げて草取りをする ・公園を利用する人で草取りや整備を行う ・地域で、順番で公園の草刈りをする ・支援金を出し、地域の人達に公園の整備を頼む ・自治会でできることは自治会で行う ・高齢者や母親に管理してもらう（報酬として病院無料券） ・高齢者のシニアボランティア ・学校行事に草取りを入れる ・子供と一緒に草取りイベント ・シルバーに草取りをお願いする ・ゴミを持ち帰る ・理想の公園を子供達から募集 ・公園に役所の人が行って意見を聞く

３　エネルギー

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	原発でない、安全な再生可能エネルギーの利用（太陽光、バイオマス）などの意見が出ている。
課題	風力、太陽光発電設備が少ない、規制が多い、場所がないなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	耕作放棄地の発電利用、規制緩和、次世代の基幹産業のとしての育成などの意見が出ている。 ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・原発ではない再生可能エネルギーの利用 ・自然エネルギーがたくさんある ・安全性の高い自然エネルギーを有効利用する ・バイオマス燃料の利用 ・太陽光発電の企業誘致 ・高校、企業、個人のソーラーカー制作活動 ・市役所、企業のソーラー電力営業	・風力、太陽光発電設備が少ない ・規制が多い ・場所がない ・風力、太陽光発電の規模が小さい ・自然エネルギー少ない	・耕作放棄地の発電利用 ・海上発電プラント ・規制緩和 ・次世代の基幹産業を育成し、雇用創出、経済活性化を図る ・エネルギー対策している企業の誘致

「防災」に関する意見の分析

1　地震津波防災

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	津波地震対策の充実として、高台の確保、防災施設の整備、小中学校の高台移転、避難場所の確保等の意見が出ており、津波に係る意見が多数を占めている。
課題	整備が不十分であることや、震災に伴い発生している事象に係る意見が多い。女性部門では個別の小学校に関するものなど具体的な意見が多い。
解決に向けてできること	行政には大規模なハード整備に係るものが求められ、地域や家庭でできることは自分たちでやるという意見の傾向にある。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・津波対策が万全で安心して暮らせる ・高台への移転（住宅工場等） ・地震対策が整っている ・地震被害を受けても避難できる施設 ・津波から避難できる大きな道路がある ・緑の防風林がある ・津波に備えて避難場所（ビル等）がある ・小学校が高台で安心できる ・相良の幼稚園、小学校、中学校、高校を高台に ・ライフラインの確保 ・防災意識が高い ・防災日本一	・津波対策が十分でない ・避難タワー、防潮堤の対策がされていない ・津波時の幼稚園、小学校の安全対策はできるか ・吉田町に比べて対応が遅い ・津波防災まちづくり計画の具体化 ・金が無く抜本的な対策がうてない ・リスク調査がされているか ・避難教育がない ・災害時の具体的な避難先が解らない ・避難所、物資の充実 ・台地の上に転居する家が多い ・素晴らしい計画が放映されたが一部のイメージ ・町内会の取り組みに違いがある ・避難路に地震で落ちそうな橋がある	・津波対策事業の実施 ・避難タワーの設置 ・高台の農地を住宅地に ・障害者、老人が車で登れる命山の整備 ・海岸に道路を兼ねた防潮堤を設置する ・ライフラインの確保 ・防災まちづくりでまとめた策定書に基づきできるものから順次着手していく ・牧之原に防災センターを設置 ・階段整備などに補助 ・高台移転者への補助 ・学校等へのライフジャケットの整備 ・年少より小さい子の安全対策をする ・幼稚園、学校等の避難マニュアルを市で大丈夫か指導する ・避難訓練はあらゆる想定を通じて身に着け徹底する ・避難道路整備は市民でできる ・災害時の避難場所の確認 ・各家庭における防災用品の整備（市補助） ・応急手当を自ら学ぶ ・自主防組織を充実して自分たちでできることを実施する ・防災について市民の意識を高める ・ハードは行政、ソフトは地域で行う

2　原子力防災

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	原子力発電所が心配、再稼働しない、廃炉にするなど全て反対意見。
課題	事故が起これば住めなくなる、毎日不安になる、基礎知識の欠如などの意見で全て原発に対するマイナスの要素。
解決に向けてできること	再稼働しない、させないため永久停止を求めるという意見が大多数である。代替えとして、風力・太陽光発電の活用などの意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・原子力発電所が心配 ・原発に頼らない ・原発再稼働なし ・安心して暮らすため廃炉にする ・原子力発電所の安全対策	・原発事故発生時に市内全域がUPZ ・原発という文字を見るたびに毎日が不安になる ・事故が起これば半永久的に住めなくなる ・放射能に対する基礎知識の欠如 ・正しく恐れることの理解が不十分である ・安全基準に対する安全度の公表	・原発を再稼働しない ・原発は永久停止を求める。 ・原発を逆に利用する ・原発を永久停止し、風力、太陽光発電を企業にしてもらう ・原発の恐ろしさをみんなが持つ ・原発を再稼働させない努力

3　風水害対策

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	住みたい姿は特になし（課題として風水害に関する意見が出ている）
課題	大雨時の水害、土砂崩れの対策が不十分
解決に向けてできること	異常気象、自然災害に対しての災害基盤整備として、排水路、山崩れ対策の整備を行う。河川の除草等については市民も協力して管理していく

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
	・河川の危険水域を超えると水害が起きる ・山崩れの危険個所が多い割に対策が不十分 ・大雨時の河川の氾濫対策が取られていない ・水防力の強化 ・土砂災害訓練の方法	・異常気象、自然災害に対して河川、公共施設、住宅などの災害基盤整備を強化する ・新たに排水路をつくる ・山崩れ対策を県と市で実施 ・雨天時の空港の水対策 ・河川、海岸、道路へのゴミ捨て、除草等について市民で協力して管理する。

4　全般的な意見

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	防災体制の整備、災害意識が高い、同報無線が聞こえる、災害に対する安心感があるなど。
課題	近所関係が希薄、情報が届かない、消防団数の減少、行政の予算措置、防災計画に係るものなどが出ている。少数だが、1,000 年に一度の規模の地震に対応する必要について疑問を持つような意見も出ている。
解決に向けてできること	施設整備のための予算確保、中長期計画の策定（日ごろからのシミュレート、できていないことの分析など）、防災の学習会、消防団・自主防への支援の充実などが行政側に求められている。 市民としては日ごろからの声掛け、地域の安全に係る話し合いなどで津波地震災害と同様にハードや啓発は行政に求めるが、ソフトや地域でできることは地域で行う役割分担のイメージを持っている。 企業からは市が中心となって意見交換会を開催し、連携を取るという意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・防災体制がきちんとしている ・災害時に助け合える ・防災意識が高い ・同報無線が聞こえる ・災害に対して安心感がある ・もしもの時にしっかり考えられる ・災害リスクが低い ・市民一人一人の防災意識が高い ・安心安全な住宅地づくり ・循環型防災教育 ・防災施設が整っている（消防団、防波堤、避難路等）	・近所と付き合いが希薄 ・1,000 年に一度に対応する必要は？ ・同報無線が聞きにくい地区がある ・現実に合った避難、高齢者は急げない ・防災の正しい知識 ・空港を利活用した防災 ・予算がつかない（不便な個所を職員が見て回る） ・情報が届かない ・各家庭での防災備品が十分にそろっていない ・被害を前提にした復旧、復興策を立てる ・消防団員の減少 ・コンクリート、鉄の強度を考えるとメンテナンスの財源 ・基本的防災計画が甘い	・資金確保（国からの補助） ・具体的な中長期計画 ・災害対策の市民向けの勉強を行う ・非常食、備蓄の委託 ・近所が声を掛け合うことで防災の助けになる ・ハザードマップを活用するように安全を明記する ・災害時の市の取り組みをアピール ・情報簡易機器を各戸に配布する ・命を守るというテーマの学習会を開催 ・安全はどうか、地域で本音で話し合う ・企業間の連携（市が中心で意見交換会） ・BCP 策定等被災後に立ち直れる計画を用意する ・食料の確保とそのための倉庫 ・消防団、自主防への補助の充実 ・日ごろからのシミュレーション ・何ができていなくて、なぜできないか説明する

「防犯・交通安全」に関する意見の分析

1　防犯

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	犯罪が無い、街灯が多くて夜間明るいなど、街路灯に係る意見が大多数。
課題	街灯が少ない
解決に向けてできること	防犯のための街路灯設置を優先的に行う、防犯パトロールの強化 ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・犯罪が無い ・夜間明るい、街灯が多い ・パトカーが巡回している ・治安良い	・街灯が少ない	・防犯のため街路灯の設置を優先的に行う ・街灯を増やす ・防犯パトロールの強化

2　交通安全

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	全て交通事故が無い、交通に対して安全という意見
課題	通学路に歩道が無く危険な個所がある、歩道が途中で切れているなど歩道の状態に係る意見のみ。
解決に向けてできること	子供の安全のために早く安全対策をする。 ※住みたい姿の中の重要なものに選定されている数が少ないため、サンプルが少ない。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・交通事故が無い ・安全に学校に通える ・歩道と車道が色分けされている ・徒歩、自転車での移動が安全	・通学路の歩道が無く危険な個所がある ・歩道が途中で切れていて危険	・子供の安全のために早く安全対策をする

「コミュニティ・交流」に関する意見の分析

1　コミュニティ

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	地域活動が盛ん、隣近所との助け合い、楽しい近所付き合いなどの意見が出されている。
課題	近所付き合いが希薄、コミュニケーションが取れていないというものが多い。単身、アパート、若者世帯との交流が無く、どんな人かわからないという意見も出ている。
解決に向けてできること	地域の行事や交流の場を設けるという意見が多く、子供と高齢者、子供と地域の交流に係る意見が多い。 ※教育文化、健康福祉、生活基盤部門からの意見が多い。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・地域活動が盛ん ・近所づきあいが楽しい ・町内会のイベントで住んでいる人が幸せになるものがある ・隣人と助け合う	・近所付き合いが希薄 ・地域のコミュニケーションがとれていない ・単身家族が増え、日中不在が多い ・アパート暮らしの人達が地域と交流していない ・隣がどんな人かわからない ・地域活動が薄い ・近所の見守りが低下 ・若い世帯と高齢者世帯の交流があまりない	・隣近所との交流の場を設ける ・老人と子供のコミュニケーション ・地域の行事を増やす（近所との関係が深まる企画） ・小・中学校の子供達が地域の活動に参加する（イベント、災害訓練） ・地域の若者の交流の場をつくる

2　市内の交流

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	様々な世代の交流がある、集える場所がある、気軽に声をかけ助け合える、イベントに積極的に参加するなどの意見が多い。
課題	交流のための施設、機会、イベントなどに係る意見が出ている。 産業部門と教育文化部門からの意見が多い、産業部門は交流のための施設整備に係る意見が多く、教育文化部門では交流の場、機会などに係るものが多い。
解決に向けてできること	施設の確保については、各種施設の整備、空き施設の利用、公民館の利用などの意見が出ている。交流の場や機会については、様々なイベント、地域の行事などに係るものが多い。ここでも子供と高齢者の交流に係る意見が出ている。（学校施設の多目的利用など）

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・楽しく競える市のイベントがある ・色々な世代が施設や外で交流がある ・子供から年寄りが安心して集える場所 ・地域社会がいつでも声を掛け合える ・イベントや行事に積極的に参加して楽しめる ・人と人の関わりが盛ん ・共生、協働できる ・地域の絆が実感できる	・交流のための公共施設自体が少ない ・大きな公園、各聖代が一緒に楽しめる施設が無い ・町中に小公園がない ・行事があって気軽に楽しめるようにしたい ・婦人会、老人会、青年会に活動が減った ・男女の交流の機会がない ・他から来た人とのコミュニケーション ・みんなが参加できるイベントがない	・参加型のオリジナルイベントをつくる ・公共施設のイベントでの利用 ・子供から大人まで行きたい図書館 ・自由に立ち寄れる公園などの施設 ・空き地や空き店舗を利用 ・コミュニティバスの運行 ・公民館利用の充実 ・学校が高齢者学級を併設して子供と高齢者が共に学ぶ ・市内の余っている　空いている資源を探し出す ・子供と高齢者が気軽に集まれる場所をつくる

2　市外との交流

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	知名度が高く、市外から人が来る、住みたくなるなどの意見が多い。
課題	交通アクセスの便が悪い、PR が足りない、観光などのアピールポイントが無いなどの意見が出ている。
解決に向けてできること	商業施設の充実、各種イベントの大規模化、観光・農業体験、遊具のある公園など様々な魅力の向上に係る意見と PR による知名度の向上、イメージの一新などの意見が出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・有名でみんなが来たくなるイベントがある ・来訪者が多い ・市外から人が来やすい ・住みたくなる人が外から増える ・海外や他県の人も住みたくなる魅力があ	・日本一をつくる ・交通アクセスの便が悪い ・PR が足りない ・観光や集客のアピールポイントが無い ・地元の人が愛する心が少ない ・まちの魅力が少ない ・他地域でも同じような	・市の PR に市民を巻き込む ・市が全国に PR（観光イベント、報道への働きかけ） ・商業施設の充実 ・市内イベントの大規模化 ・市が持つ資源、資産の活用 ・観光農園、農業体験 ・遊具がたくさんある公園をつくる ・定住、U ターンするだけの魅力創造 ・牧之原市のイメージの一新

る ・世界に牧之原市の良さが発信できる ・都会の人が第2の人生を送れる	イベント、施設ばかりで分散している	・富士山等を活かして観光に力を入れ、人が来てくれる空港をつくる

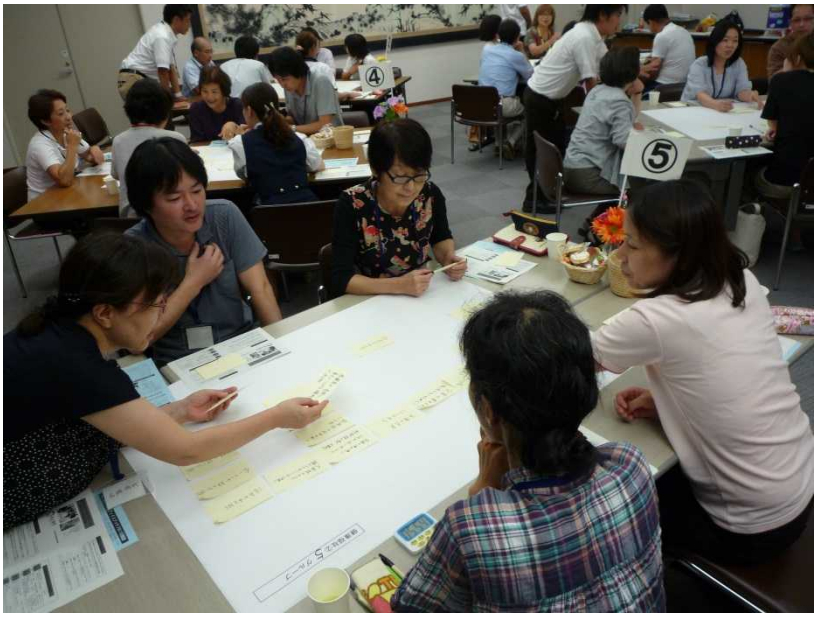
「市政運営・情報通信」に関する意見の分析

1　市政運営・情報通信

(1)意見の傾向分析

住みたい姿	財政が豊かになる、税金が安い、近隣市町との制度や手当の差が無いなどの意見が多い。市役所の能力アップ、確実に前進していく行政力なども期待されている。
課題	負債が多い、企業が少ない、近隣市より税金が高い、企業が儲かっていないなど市の収入とサービスに係る意見が多い。
解決に向けてできること	企業の移転対策、産業誘致など新たな収益を生む取組みと施設の統廃合など経費削減に係るもので市の収入に係るものが多い。一方で市民が市に頼らない、市からの説明、市民の意見への取り組みなど協働に係る意見も出ている。

(2)代表的な意見

住みたい姿	課題	解決に向けてできること
・収入に不安がない ・市政が充実する ・近隣行政と制度や手当に差が無く、不公平感が無い ・市民税が安い ・施策への疑問が少ない ・市役所が元気で能力アップ ・欲張らずに確実に前進する行政力 ・公共料金が安い ・住民の声を聴く ・安全、安心な住宅地づくり ・安心して子育て、老後を過ごせる ・公共施設の充実	・負債が多く企業が少ないため税収が少ない ・観光客が少なく外からの収入が入ってこない ・他地区より税金が高い ・近隣市町より医療費も高い ・要介護、生活保護が多い ・吉田町と比較されている ・通勤、通学が便利 ・財源が少ない ・合併の際に安い方のやり方にした ・個人、企業が儲かっていない ・企業が来にくい制限(土地利用)	・企業の転出を防ぐ努力をする ・職員の給料を下げない代わりに外食文化を根付かせる ・市の特色を活かした企業誘致、観光 ・市民が自らできることは市役所に頼らない ・施設の統合による節約 ・市から具体的な説明を世代別に行う ・グループワークの意見に対して本気で取り組む ・様々なイベントを仕掛ける ・雇用を増やす

意見交換会　写真